

JAPAN Jazz

特 集

渡辺 貞夫

私と渡辺貞夫～
菅原正二(バイザー)、
幸田稔(ノ)、
中平穂積(DUG)
レコード・カタログ
Part 2

第30回ハママツ・ジャズ・ウィークへの期待
曾根麻央, サラ・オレイン, 大山日出男

Long Gone...

ジョシュア・レッドマン, ブラッド・メルドー,
クリスチャン・マクブライド, ブライアン・ブレイド

DOMi & JD BECK 驚愕のZ世代DUO / チャーリー・ヘイデン デュオの真髄を聴く
中牟礼貞則 6人のピアニストとの響宴 / AUTUMN JAZZ FESTIVAL 特集

Interviews THE CHOPPERS REVOLUTION/Eri Chichibu/TOKU/Izumi Hirotaka & Friends(Yuji Toriyama/Ken Ota) etc.

OCTOBER 2022
Vol.

145

- 006 **特集 渡辺貞夫** 私と渡辺貞夫 ○菅原正二/幸田稔(バードマン幸田)/中平穂積
- 012 **第30回 ハママツ・ジャズ・ウィーク**
- 072 音楽のまち 浜松をジャズ一色に染める大型ジャズ・フェスティバル ○原田和典
- 016 **DOMi & JD BECK** 驚愕のZ世代DUO ○落合真理
- 018 **LongGone**
ジョシュア・レッドマン, ブラッド・メルドー, クリスチャン・マクブライド, ブライアン・ブレイド
レッドマン主導という展開を予感させる問題作 ○藤本史昭
- 020 **The Choppers Revolution** Narucho(鳴瀬喜博)×IKUO×TAKA(村田隆行)
FAN×K 10周年を機に原点回帰を果たした驚異の超絶ベース集団 ○近藤正義
- 022 小曽根真にも賞賛された才能 作曲家/鍵盤奏者 **秩父英里がデビュー!** ○佐藤英輔
- 024 **SHAG** SUGIZO, KenKenを擁したSHAGのジャズ・ロックへの挑戦III
「破壊」から生み出される, 思いも寄らぬ「気高い響き」 ○小川隆夫
- 026 **#齋れいな** おうちでJAZZ聴いています
- 028 **ジャズ・レコード・レビュー**
- 039 **Up Close and Personal** ～今最も熱いアーティストに直撃インタビュー!
TOKU/Izumi Hirotaka & Friends(鳥山雄司&太田剣)
- 044 音楽活動70周年記念作『弦音』中牟礼貞則と6人のピアニストの饗宴 ○伊藤嘉章
- 048 **MZES TOKYO** ジャンル, 年齢, 実績, 先入観に捉われない新たなダイバース・ライブ・ハウス 赤坂“MZES”
ここには, 忘れかけられているジャズの自由の喜びがある ○川崎浩
- 051 **渡辺貞夫レコード・カタログ 後編**
- 068 **Quintessense of Duo Charlie Haden**
デュオはベーシストという域を超えたヘイデンの人間性そのもの ○岡崎正道
- 074 **特集 AUTUMN JAZZ FESTIVAL 2022**
横浜ジャズブロードムナード2022/阿佐谷ジャズストリート2022/鹿児島ジャズフェスティバル2022
- 082 山中千尋 COOL TALK 084 中野俊成 ジャケ買いしてしまった!!
- 086 海原純子 ジャズ・スタンダードにみる男の心・女の心 088 大友良英 “僕はこんなジャズを聴いて来た”
- 090 正統派ジャズ・ヴォーカルの真骨頂を見せた 飯田さつきアニヴァーサリー・コンサート ○高井信成
- 092 TOPICS アポロ・シアター「アマチュア・ナイト」に認められた驚異のシンガーWakasaがCDデビュー!
- 093 TOPICS 成川修士×飯田雅春×安藤正則 成川修士ギター・トリオ第2弾『せびあ』はアナログ録音一発録り
- 094 TOPICS 幅広いジャンルの曲を高い歌唱力で聴かせるシンガー 川崎祐子の満を持してのファースト・アルバムが完成
- 095 TOPICS 全聲のベーシスト, ディジー吉本がトリオで描くマリリン・モンロー楽曲集
- 096 TOPICS パッソ=バルダンブリーニ・クインテットの貴重なボサノヴァ作品がCD及びアナログLPで国内初の復刻
- 097 TOPICS 癒しのピアニスト アレクシス・フレンチ 国, 人種, ジャンルを超え音楽のあるべき姿を探究した至高のサード作
- 098 TOPICS ギタリスト 寺屋ナオ シンプルな編成だからこそプレイの魅力をじっくりと味わえる自身初のトリオ作
- 099 TOPICS イスラエル・ジャズの新たな息吹を感じるユニット「KENS」新世代ギタリスト/リーダー, カイに聞くサウンドの背景
- 100 寺島靖国のMY ROOM MY AUDIO
- 102 **JAZZ AUDIO** OTOTEN 2022 ○林正義
- 106 **2022ジャズ・フェスティバル・レポート Part1** UENO JAZZ INN '22/'22横浜旭ジャズまつり
- 110 **ライブ・レビュー**
Kiss the Cats/岩崎佳子『Meet The Legends』/DIMENSION/都響スペシャル「チック・コリアに捧ぐ」/江戸 Jazz 2022/新居恵美/小林麻里
- 117 **Jazz Program Guide** 118 | **Jazzと演奏と録音の日々。** ○塩田哲嗣
- 120 インポート・ディスク・レビュー 132 JAZZ IN GOOD 'N' OLD DAYS ～我が愛しのジャズ・アルバム ○寺島靖国/岡崎正道
- 124 The Latest Jazz Chart 136 カルチャー・レビュー MOVIE ○吉岡正晴
- 126 ニュース:J.J.Times(World) 138 Reader's Opinion
- 128 ニュース:J.J.Times(Japan) 140 J.J.LIVE WALKER ライヴ&コンサート・インフォメーション
- 130 The Latest Releases

Cover Photo: 渡辺貞夫
写真: 内山繁



Publisher
Takafumi Mimori

Editors
Takafumi Mimori
Shuntaro Sato
Hitomi Tanabe

Cooperate
Hiroki Miyakoshi
Masaru Shindo

Art Director
Masamichi Ochiai

Design
Marrs Visualizer
Graphic Designs

Photographer
Shigeru Uchiyama
Hiroshi Kawasaki

発行人
三森隆文

編集部
三森隆文
佐藤俊太郎
田邊仁美

協力
宮腰浩基
新藤勝

アート・ディレクター
落合正道

デザイン
マーズデザイン

写真
内山繁
川崎浩

川緒祐子の満を持してのファースト・アルバムが完成 “ロックとジャズを融合させた独自のサウンドをつくってみたいと思っていた…そのさまざまなイメージを具現化することができました”



ジャズやボサノバを中心に、幅広いジャンルの曲を高い歌唱力とテクニックで聴かせるシンガー、川緒(かわばた)祐子。これまで国内をはじめ米国での活動なども積み重ね、2007年には自主制作盤をリリースした。そして、それから15年の月日を経て、満を持してのファースト作となる『ロッキン・ジャズ・イン・アールーム』を完成させた。

表情豊かなアレンジが施されたスタンダード・ナンバーはもちろんだが、“ロックとジャズを融合させる”という、その独自のクロスオーバーを施した5曲が特に、川緒祐子のアーティストとしてのオリジナリティを色濃く感じさせる。

「漠然とでしたがずっと、ロックとジャズを融合させた独自のサウンドをつくってみたいと思っていたんです。いろんなアイデアを温めていたのですが、昨年にピアニストでトランペッターの平手裕紀さんと出逢い、そのさまざまなイメージを具現化することができました」

“ロックとジャズの融合”という言葉からはさまざまな展開が想起されるが、川緒祐子の場合、まさにその言葉通りの“融合”で

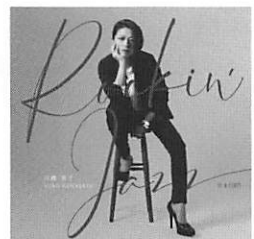
あって、ジャズやロックの耳馴染んだメロディや伴奏が、時に交差したり、時に一つになったりと多彩なクロスオーバーを繰り広げ、リスナーは驚きと同時に、それらをまた新たな曲として受け取ることになる。そのアイデアの源泉を彼女はこのように話す。

「楽曲が有する意味やキーワードでリンクすることもあれば、その曲自体のコード進行や響きからつながっていくこともあるんです」

1曲目に収録される〈サタデー・イン・ザ・パーク&サニー・サイド・オブ・ザ・ストリート〉は、「戦争が終わって平和が来るといふシカゴの名曲と、大恐慌を経験しさらに元気に明るくなっていくというスタンダードを、“キラキラ”したイメージでクロスオーバーさせました」と、〈サタデー〜〉の伴奏に対して〈サニー〜〉の軽快なメロディが乗せられてゆく。他にも「イントロの印象が強い2つの曲が重なったらどうなるかチャレンジした」という〈美味しい水&スモーク・オン・ザ・ウォーター〉や、「嵐のどん底から高波を進んでいくという、2つの曲をつなげて一つの物語にしたかった」と話す〈ストーミー・ウェザー&セイリング〉など、彼女独特の世界観が広

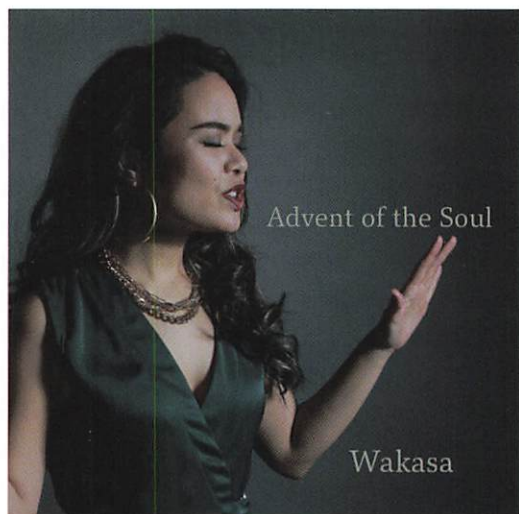
がって行く。

記念すべき1作目をリリースし、「ジャズは、演奏家一人ひとりが主役であり、またサポーターでもありながら、全員でその一曲をより良くしていこうと力を合わせて音楽を築いていくとても素敵な音楽です。現時点での自分自身やこれまでの歩みが詰まったこのアルバムが完成し、自分の軸をぶらさないようにしながらも、これからもっといろんなことを吸収して、シンガーとして進化し続けていきたい」と抱負を語る。ジャズとロックの融合のアイデアもすでにたくさんあるといい、シンガーとしてのみならず、川緒のそのオリジナルなサウンドがどのように広がって行くのかも今後さらに非常に楽しみである。



『ロッキン・ジャズ・イン・アールーム』
(What's New Records/Swing Cat)

Jazz Record Review



アドヴェント・オブ・ザ・ソウル / Wakasa

アポロ・シアターに認められた実力派シンガーのデビュー作。バックを固めるジャズ・フュージョン・サウンドも魅力

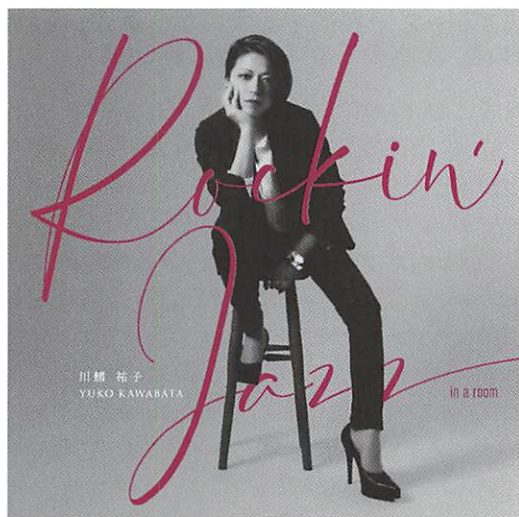
プロ・シンガーの登竜門として数々の偉大なアーティストを発掘してきたアポロ・シアター「アマチュア・ナイト」の日本初開催時、現地プロデューサーが与える特別賞を受賞し、NYでもパフォーマンスを行った実力派シンガーによるR&B、ソウル、ブラコン、アシッド・ジャズなどのカヴァーによるファースト・アルバム。全体的に彼女自身のブラック・ミュージック嗜好が存分に現れていて、どの曲も思い入れたっぷりの歌唱を見せる。聴くと正統派R&Bシンガーとしてのテクニックが充実していることはすぐにわかる。シンガーとしてのインパクトもあり、今後の活躍に期待したくなる存在感。アレンジはポップで、どちらかというところカッチリした印象。テイストとしては生演奏によるそれぞれの演奏者の手触りがしっかりと感じられる仕上がりで全体的には90年代風で、音の黒さよりもっとポップな印象。バックを固めるプレイヤーも国内の実力派が揃い洗練された演奏は、そうしたテイストの好きなジャズ・フュージョン・ファンであれば間違いなく楽しめるだろう。本作を機にさらなる飛躍を期待したい。

(鈴木りゅうた)

■①エイント・ノーバディ ②スイート・ラヴ ③ヒーロー ④ストリート・ライフ ⑤ドント・ユー・ウォーリー・バウト・ア・シング ⑥アルフィー ⑦アフター・ザ・ラヴ・ハズ・ゴーン ⑧ユー・アー・ザ・ユニヴァース ⑨シンク ⑩ザ・グレイテスト・ラヴ・オブ・オール

■Wakasa(vo,cho) 松井秀太郎(tp) 石橋采佳(tb) 宮崎隆陸(sax) 安部潤(key,programming) 小川悦司(g,cho) 牧野竜之介(b) 三井大生(strings) 大津惇(ds) 小川このん(per) 富岡美保, 隅川真理(cho) 2022年作品

■トライロジック・プロジェクト Trilogic TL-220711 発売中 3,300円(税込)



ロッキン・ジャズ・イン・ア・ルーム / 川緒祐子

かわばた
ジャズとロックの融合。川緒祐子のデビュー作はボーダレスで躍動感溢れる楽しい作品に仕上がっている

ジャズとロックの融合。ジャズ・シンガーとして活動する川緒祐子のデビュー作は、ボーダレスで躍動感溢れる楽しい作品に仕上がっている。シャンソン歌手の母をもち、米国留学の経験もあることから、様々な音楽ジャンルから影響を受けているのだろう。スタンダード曲の他に、シカゴの〈サタデイ・イン・ザ・パーク〉やキャロル・キングの名曲⑤など、収録曲はジャンル関係なく多種多様で、ジャズのアレンジを活かしつつ、これまでに聴いたことのない斬新な世界観を生み出している。中でも特筆すべきは、ディー・パープルの〈スモーク・オン・ザ・ウォーター〉とボサノヴァの名曲〈おいしい水〉との融合。耳に残るあのギターのリフを活かし、展開していくアレンジは、本当に秀逸だと思う。他にも④がトルコ民謡と融合するなど、どの曲もアイディアとセンスに溢れている。また、川緒の耳ざわりのいい落ち着いたハスキー・ヴォイスも、より一層作品を魅力的にしている。テナーやソプラノ・サクソフーン、トランペット、ギター・サウンドも華やかで生き生きとした雰囲気である。

(島田奈央子)

■①サタデイ・イン・ザ・パーク&オン・ザ・サニー・サイド・オブ・ザ・ストリート ②アグア・ジ・ベベール&スモーク・オン・ザ・ウォーター ③ザ・ニヤネス・オブ・ユー ④ア・ナイト・イン・チュニジア&ウスクダラ ⑤ウィル・ユー・スティル・ラヴ・ミー・トゥモロー? ⑥オレンジ・カラード・スカイ ⑦ストーミー・ウェザー&セイリング ⑧ア・ホワイター・シェイド・オブ・ペール&テネシー・ワルツ ⑨マイ・フェイヴァリット・シングス ⑩L-O-V-E

■川緒祐子(vo) 小濱安浩(ts,ss) 平手裕紀(p,org,tp) 道祖淳平(g) 北川弘幸(b) 浅井翔太(ds) 2022年1月27, 28日千葉で録音

■ディスクユニオン What's New Records/Swing Cat GWNS-5017 8月24日発売 3,000円(税込)